

※交流会及び能面展会場

平成27年8月14日(金)～16日(日)



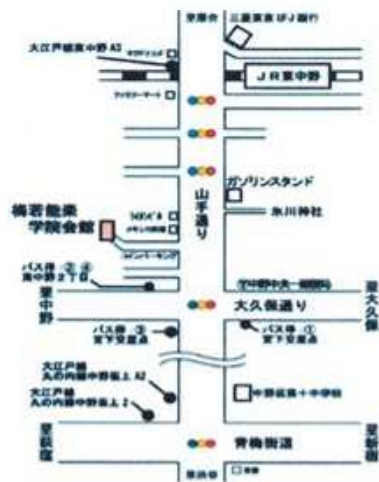
豊中不動尊へのアクセス

- 新大阪駅・大阪駅から地下鉄千里中央駅下車
- 千里中央駅から9, 10, 45, 49系統バス 豊中不動尊前下車(約5分)
- 阪急豊中駅から車で10分
- モノレール少路駅から徒歩10分

○駐車スペースが限られているため 自家用車でのご来場はご遠慮ください。

※梅若会定式能及び能面展会場

平成27年10月16日(金)～18日(日)



梅若能楽学院会館へのアクセス

- JR 総武線・東中野駅西口 徒歩8分
- 地下鉄
  - 大江戸線・東中野駅 A3出口
  - 大江戸線・中野板上駅 A2・2出口
  - 丸の内線・中野板上駅 A2・2出口
 いずれも徒歩8分

〒164-0003 東京都中野区東中野2-6-14  
公益財団法人 梅若会(梅若能楽学院会館)  
TEL:03-3363-7748

※お問い合わせ  
鳥熊山能面祭実行委員会  
<http://www.shimakumayama.yuugen.net/>  
mail:mai@yuugen.net

平成二十七年 第九回

鳥熊山能面祭 凶録



主催：鳥熊山能面祭実行委員会  
後援：豊中市・豊中市教育委員会 協力：豊中不動尊

第9回鳥熊山能面祭 大賞作品 梅若玄祥賞 「若女」 原田ちよ子  
(10月18日 梅若会定式能 「野宮」で使用予定)



## ごあいさつ

第9回島熊山能面祭にご応募いただきありがとうございます。

全国27都府県より課題部門**77**面、自由部門**112**面、合計**189**面の応募をいただきました。

今回は、梅若玄祥先生のご厚意により**10月18日**、東京梅若能楽学院で行われる梅若会定式能で優秀作品を使用していただく機会を得、課題部門として「養老」「野宮」の2曲に使う能面も自由部門と合わせ募集しました。

募集要項の配布を早め、製作期間を確保しましたが、「課題曲の表現が難しい」「課題曲に合う作品が打てず応募しなかった」などの声も聞かれ、中には課題の面が得意分野でなかった為、実力を十分発揮できなかった方もおられたと思います。

審査委員会の先生方に何うと、優れた能面を所蔵している中で、定式能で応募作品を使用するのですから、ほんとに良いものを選びたいと、審査は厳しいものになったとのことです。入選数は昨年の**32**面から**18**面に減少しました。

これは、技術が落ちたのではなく、むしろ向上しているのですが、能面の力強さや表現力、自然さや舞台効果など、より高い見地が求められた結果だと伺いました。

課題曲には使えないが他の曲では使える面が選外になり、表面が良くても裏の影が悪い面も選外になりました。これらは少しの手直しで入選する作品と思われます。

能面の美しさ力強さに魅了され面打ちを始めた方々も多いかと思えます。飾り面でなく「能舞台で使える能面」を目指し今後も努力され、伝統芸能を守り後世に引き継いで良い作品を生み出していただきたいと思えます。

島熊山能面祭は皆様と能楽師を継ぐパイプの役割を果たし、「平成の名作の発掘と面打ちへの支援」を目標として、お役に立ちたいと考えています。

今回も梅若玄祥先生・大槻文蔵先生はじめ、能楽師の先生方に審査やコメントなど大変な作業を快く引き受けていただきました、改めて厚くお礼申し上げます。

最後に、ご後援いただいた豊中市長・豊中市教育委員会に感謝し、協力いただいた豊中不動寺にお礼申し上げます。

島熊山能面祭実行委員会

## 審査風景

親世流シテ方  
梅若玄祥先生 大槻文蔵先生  
山本博通先生 赤松禎友先生  
山崎正道先生 武富康之先生



和泉流狂言方  
小笠原 匡先生



## 審査員総評

今年は課題部門を設けたため、審査基準が「能舞台で使えるか？」と「課題曲に使えるか？」の二つになり、課題曲に使えない面は、たとえ他の曲で使えても入選とはせず、たいへん厳しいものになり、課題曲の審査に合わせ自由部門も厳しく、能楽師が良いと思われるものだけを入選にした結果、入選作品の数が従来より大幅に減ることになりました。

課題曲の作品を見ると、曲にあわない明るく朗らかな女面や、深井で応募された方がおられます。たしかに「野宮」には深井と謡曲集に記載されていますが、深井を使うと、紅なしなど衣裳も変わり趣や表現が大きく変わります、実際「野宮」に使える深井は非常に少ないでしょう。これは若女や増女などの女面でも言えることですが、曲を十分理解してその曲にふさわしい表情の面をまず選択してほしいと思えます。

次に、写真を見て写そうとする気持ちが強すぎ、なぞって思い切りの良い打ち方ができず、面の良さを写し切れない作品が多くみられました。写真は写し方や好みにより色も型も変わります、実物でないのにミリ単位の寸法や色にこだわると表情がつかめず、自分の想いが入り、結果的に実物と大きく離れた面になってしまいます。

本面を見る機会は少ないかもしれませんが、なるべくよい面を生舞台で見て、自分で良いイメージを作ることが大切でしょう。昔の面打ちは舞台を見尽くしています。能を見て打つかどうか、趣味で終わるか、良い作品を残せるかの差になると思えます。

皆様も是非、能をご覧になって能面を打っていただきたいものです。

能面は顔につけ舞台に出ます。重かったり顔に接する裏面の影が悪いと舞台では使えません。昔から裏は作者の力量を現すものとして大切にされてきました。裏面の影をおろそかにせず、重さや顔のあたり・面の受けを自分で確かめてください。自分がつけて舞うという思いで打ってください。

彩色も影も自然で生き生きした作品を打ってください。あまり個性的でなく役者の入る余地のある面が望まれます。短時間舞台に出る鬼神面であっても、個性的過ぎるとその印象が強すぎて使いにくい面になります。

能は、個性を出し過ぎると面白くありません。観る人が100人いれば100とおりの感じ方をしてもらうのが能です。余分なものは極力削ぎ落として余分な動き、説明はしたくない演劇です、作り物なども簡素で見るとイメージしてもらい感じてもらうとしています、説明を入れるのなら他の演劇の方がおもしろいでしょう。それが能です。見る人の人生、生き方を通じて何かを感じてもらうのです。これが能の難しさであり良さです。能面も強さは必要ですが表情が出過ぎてしまうとそこからイメージが広がらなくなってしまうです。

(文責・事務局)



## 大賞

梅若玄祥賞 課題部門 「若女」 原田ちよ子 (愛知県)



若女にしては少し若い感じがしますが良い作品です。舞台上個性が邪魔しない素直な面でも何の曲にでも使えそうです。若女は癖のないのが良い。女面はむつかしく、曲との相性が可もなし不可もなしが多いのですが、野宮ならこの面が良いでしょう、舞台上出れば良い変化するでしょう。少し目が長い感じもしますが。

## 特別賞

豊中市長賞

課題部門  
「小牛尉」 関東 秀康(大阪府)



表情も良いし、彩色にも小牛尉らしく良い面です。口の裏があついで、紐穴を持った時に顎が下がってしまいます。面を顔に掛けることを前提として作ってほしい。裏だけの問題です。

審査員特別賞

課題部門  
「三日月」 野本 健三(千葉県)



唇の強さも、自然で勢いがあります。彩色は汚しすぎの感じはあります。輪の彫などに繊細さはないのですが、細かいところにとらわれないで、思い切りがよく、自然な力強さがあります。写すことに集中してしまい、なぞった面が多い中この面は良いと思います。三日月の名からは外れていますが、怪士系としていろいろな曲に使えます。古面にも三日月とか怪士とかの名が付いた色々な面があります。怪士系として良い面です。

大槻文蔵賞 課題部門 「邯鄲男」 岩崎たつお (京都府)



舞台上十分使えます。彩色も良いし、眼がちょっと弱いため表情が弱く感じますが、養老に使う邯鄲男としては良いと思います。裏のあたりもよい、良い作品です。

## 優秀賞

課題部門  
「増女」 相良 悟(福岡県)



彩色が白すぎる、鼻に比べて口が大きくバランスがよくない。各パーツはいいのですが、鼻から頬にかけての工夫がいるでしょう。全体的に個性が出すぎています。目の表情が増女とはちょっと違うような気がします。鼻筋もはっきりしているので眼に金を入れ口びるを少し赤くしたら泥眼になってしまう表情です。増女とはちょっと違うが良い作品です。

課題部門  
「増女」 原田ちよ子(愛知県)



よい面です。表側は非常に良くできている。増女として彩色もよい、ただ、野宮の曲で使えるかと考えたとき、色的に少し問題がある。舞台上表情が変化するようにもうひと工夫してほしい。裏のあごの彫り方が悪く汗がたまってしまう、注意してください。面を顔につけることを前提として裏を彫っていない、表面だけに集中してはだめです。面袋は余りざらざらしたものは、面を傷つける恐れがあります。注意してください。

自由部門  
「鷹」 川井郁司(兵庫県)



良い作品です。眼の向きどころもよいし、力強さもある。鷹は品のない作品が多いですが、この作品は品が良い。船弁慶に使えます。怪士系はむつかしく、ナチュラルな面は役者の入る余地があるので良いが、特徴的・個性的になりすぎるとダメです。この面は良いと思います。色はちょっとニュアンスが違います。色表に落として引き揚げたような感じがします研究してください。この色でこの強さと表情が出ているのは良い。



## 奨励賞 課題部門

「節郎男」松尾 芳樹(大阪府) 「節木増」後藤 浩二(大分県) 「小尉」海老原 彰(鹿児島県) 「小牛尉」小堀 正(東京都)



舞台で使えますが容顔に勢いがいい、口は上唇がめくり上がっているように見え、鼻が悪く品をなくしています。彩色はいいのですが若干色が鮮やかすぎるくらいがある。下輪で眼玉を表現するなど顔の表情を研究してください。鼻は全体的の悪くはないのですが、節郎の曲には使えないが、神の役には使えます。



表情は良く野宮の曲には使えます。眼の上の影が深く、節木増にしたらちょっと年を取って見えます。眼が強くはなっているので鼻とのバランスが若干悪くなっています。良い面です。



小尉の色は白いのも茶色っぽいのもあるので問題はないのですが、神の化身であり、威厳や貴族などが必要な面です。それを表現する彩色が必要でしょう。影が強い感じもしますが、表情は出ています。鼻の影が強く、あたりが悪い。鼻の裏がとがっているこれは直したほうがよいでしょう。鼻の長さもよい。



舞台で使えますが、神の化身の面です。形も色もあまり生身の人間を出してしまおうと、神の威厳や品がなくなり、もう少し神の威厳と品を意識してください。左右が対称のため、動きや表情が少ないようです。鼻ももう少し軽くしてください。

「神体」藤田 修三(兵庫県)



力強く表情豊かで、個性があり良い面ですが、眼が下向きすぎています。口は力強く感じるのは鼻の影響でしょう。彩色も毛書きも良い、男前の神体ですね。

「増女」池谷 幸喜(山梨県)



少し弱い感じですが、増女としては良い作品だと思います。もっと輪郭で品が働けばさらに良くなるでしょう。増女とはっきりしすぎで、表情に強みがないため課題曲野宮で使うのは少しむづかしいところもあります。表情と曲を研究してください。唇が厚い。鼻の影は軽くて良いと思います。

「小尉」伊庭 貞一(滋賀県)



神の化身の面ですから威厳や品が必要ですが、眼の穴が大きすぎ、鼻が大きすぎ目立ってしまい人間に近くなって威厳が損なわれています。彩色に厚みがないため課題曲野宮で使うのは少しむづかしいところもあります。鼻の影は軽くしてください。

## 奨励賞 自由部門

「舞丸」富田 隆之(鳥取県) 「黒髭」富田 郁生(京都府) 「小徳見」大賀 信義(広島県) 「童子」田川 閑悟(大阪府)



舞台で使えます。面の特徴がつかまれて良い作品です。毛書きもよいし彩色もよいのですが、全体にふっくらしすぎで、鼻も大きく感じます。左右対称に彫られているため顔に動きがないようです。



舞台で使えます。鬼神の面です水中からならむ目の動きが求められる面です。骨格もつかまれており良い面です。鼻に勢いもあり、彩色もよい。裏面の工が悪く、重い。能面は舞台で顔に付けられ舞われるのです。自分の顔に付けてみてください。表面と同じように裏面も大切に彫ってください。



能舞台で使えます。彩色も良いと思います。口をへしむ影は良いのですが、眼の穴が大きく締まりがないため眼にもう一つ力強さがなく残念です。



形も良いし、表情も良くつかまれています。舞台で使えますが、眉毛がはつきりしすぎて、漫画チックになってしまっています。舞台では黒がしらを付けますので、眉毛は隠れ表情が突っついて良い作品になると思います。

## 応募作品

応募者表記内：自由=自由部門  
課題=課題部門

受付順

「黒髭」森島 紀明(大阪府) 自由



「節」金淵 秀男(愛知県) 自由



「節郎男」富田 隆之(鳥取県) 課題



「増女」金淵 秀男(愛知県) 自由



「黒清」坂井 昭俊(福岡県) 自由



「節木増」金淵 秀男(愛知県) 自由



「悪尉徳見」坂井 昭俊(福岡県) 自由



「黒黒髭」白井 克夫(埼玉県) 自由



「徳實」富田 郁生(京都府) 自由



「高式尉」白井 克夫(埼玉県) 自由



「今吉」松尾 芳樹(大阪府) 自由



「節門」野本 健三(千葉県) 自由



「黒沙門」野本 健三(千葉県) 自由



「若女」後藤 浩二(大分県) 課題



「節木増」後藤 浩二(大分県) 課題



「深井」後藤 浩二(大分県) 自由



「増女」落合 勇紀夫(神奈川県) 課題



「深井」落合 勇紀夫(神奈川県) 課題



「小牛尉」落合 勇紀夫(神奈川県) 課題



「小牛尉」松田 龍仁(山口県) 課題



「増女」塚田 和男(大阪府) 自由



「俊男」塚田 和男(大阪府) 自由



「神体」眞野 恵子(福岡県) 課題



「黒髭」眞野 恵子(福岡県) 自由



「孫次郎」水口 一志(福岡県) 課題



「小面」山口 義法(茨城県) 課題



「小牛尉」山口 義法(茨城県) 課題



「若女」山本 悦郎(三重県) 課題



「節郎男」山本 悦郎(三重県) 課題



「曲見」山本 悦郎(三重県) 自由



「小牛尉」立神 祥元(広島県) 課題



「小徳見」立神 祥元(広島県) 自由



「孫次郎」海老原 彰(鹿児島県) 自由



「武悪」海老原 彰(鹿児島県) 自由



「若女」海老原 彰(鹿児島県) 課題



「増女」海老原 彰(鹿児島県) 課題





応募作品

応募者表記内：自由＝自由部門  
課題＝課題部門



























受付順

「郎那男」海老原 彰 (鹿児島県) 課題	「囃吹」岩崎たつお (京都府) 自由	「若女」松本洋一 (兵庫県) 課題	「肥後」松本洋一 (兵庫県) 自由	「若女」榎原嘉明 (兵庫県) 課題	「小獅子」大賀信義 (広島県) 自由
					
「万歳」長谷川好昭 (兵庫県) 自由	「郎那男」遠藤敏一 (福岡県) 課題	「小獅子」遠藤敏一 (福岡県) 課題	「節木増」島田紀明 (千葉県) 自由	「鼻燈籠劇」永井孝幸 (長野県) 自由	「瘦男」永井孝幸 (長野県) 自由
					
「神功皇后」高橋清治 (滋賀県) 自由	「孫次郎」井上勝子 (京都府) 課題	「若女」森實久雄 (東京都) 課題	「逆髪」原田ちよ子 (愛知県) 課題	「景清」原田 誠 (埼玉県) 自由	「郎那男」小島 正 (東京都) 課題
					
「鹿沙門」露木 修 (東京都) 自由	「郎那男」森下 徹 (愛知県) 課題	「大色見」森下 徹 (愛知県) 自由	「乙」瀬津敏一 (滋賀県) 自由	「若女」藤田修三 (兵庫県) 課題	「定牙小飛出」森正雄 (福岡県) 自由
					
「小面」境 和義 (福岡県) 課題	「中將」境 和義 (福岡県) 自由	「小半獅子」光畑正士 (神奈川県) 課題	「深井」松下弘美 (神奈川県) 自由	「曲見」松下弘美 (神奈川県) 自由	「鼻燈籠劇」菅原望元 (滋賀県) 自由
					
「瘦」萩野正雄 (山梨県) 自由	「若女」田中宏明 (京都府) 課題	「朝法師」田中宏明 (京都府) 自由	「若女」大野朋子 (愛知県) 課題	「若女」大野朋子 (愛知県) 課題	「小色見」西村金吾 (大阪府) 自由
					

応募作品

応募者表記内：自由＝自由部門  
課題＝課題部門

受付順

「小獅子」藤本重廣 (大阪府) 課題	「小面」松本二三年 (福岡県) 自由	「若女」榎原 仁 (宮城県) 自由	「中將」榎原 仁 (宮城県) 自由	「小面」穴山敏文 (広島県) 課題	「若女」平野親義 (福岡県) 自由
					
「若女」平野親義 (福岡県) 自由	「小面」木葉喜久哉 (愛知県) 自由	「郎那男」関東秀彦 (大阪府) 課題	「節木増」関東秀彦 (大阪府) 課題	「山姥」関東秀彦 (大阪府) 自由	「若女」菅本 榮 (兵庫県) 課題
					
「笑劇」菅本 榮 (兵庫県) 自由	「大黒」東野一二 (東京都) 自由	「恵比須」東野一二 (東京都) 自由	「空吹」東野一二 (東京都) 自由	「深井」今村耕司 (熊本県) 自由	「瘦男」今村耕司 (熊本県) 自由
					
「不動」今村耕司 (熊本県) 自由	「深井」石川篤彦 (千葉県) 課題	「小面」加地幹生 (大阪府) 自由	「小半獅子」阪本孝夫 (大阪府) 課題	「節木増」西村 武 (福岡県) 課題	「若女」松田智之 (京都府) 課題
					
「赤平太」山本雄山 (兵庫県) 自由	「阿古父尉」田中成治 (愛知県) 課題	「小色見」藤村都寿 (滋賀県) 自由	「天神」松尾茂生 (滋賀県) 自由	「小獅子」大野民夫 (兵庫県) 自由	「神体」田水 満 (大阪府) 課題
					
「深井」田水 満 (大阪府) 課題	「三日月」竹内城元 (福岡県) 自由	「朝法師」竹内城元 (福岡県) 自由	「深井」藤井秋也 (滋賀県) 自由	「節木増」伊藤幸男 (千葉県) 自由	「泣増」坪西國廣 (福岡県) 自由
					



応募作品

応募者表記内：自由＝自由部門  
課題＝課題部門

受付順

「万歳」坪西國廣 (福岡県) 自由  
「雲」山口悦美 (新潟県) 自由  
「太郎男」野村博昭 (福岡県) 課題  
「翁」高橋正憲 (千葉県) 自由  
「小面」高橋正憲 (千葉県) 自由  
「三光劇」亀井紀夫 (福岡県) 課題



「増女」亀井紀夫 (福岡県) 課題  
「若女」岩武忠典 (大分県) 課題  
「赤般若」岩武忠典 (大分県) 自由  
「真僧愚形」山崎周哉 (千葉県) 自由  
「逆髪」牧 玉美 (愛知県) 自由  
「老女小町」荒牧玲子 (福岡県) 自由



「節木壇」荒牧玲子 (福岡県) 課題  
「歌盛」中川博之 (滋賀県) 自由  
「孫次郎」住村 大 (福岡県) 課題  
「若女」柳田英彰 (栃木県) 課題  
「三光劇」柳田英彰 (栃木県) 自由  
「権姫」糸井久明 (福岡県) 自由



「小牛劇」遠畑健治 (愛知県) 自由  
「孫次郎」平田絢雄 (大阪府) 自由  
「若女」石橋 創 (大阪府) 自由  
「起眼」石橋 創 (大阪府) 自由  
「老女」池野光治 (大阪府) 自由  
「若女」栗原富美子 (茨城県) 課題



「若女」井上秋一 (長野県) 課題  
「小僧見」井上秋一 (長野県) 自由  
「若女」天羽正夫 (徳島県) 自由  
「孫次郎」田川賢悟 (大阪府) 自由  
「小僧見」田川賢悟 (大阪府) 自由  
「赤般若」平本 茂 (大阪府) 自由



「真髯」平本 茂 (大阪府) 自由  
「小面」増子源吉 (福島県) 自由  
「武愚」増子源吉 (福島県) 自由  
「小牛劇」辻本和仁 (大阪府) 課題  
「真髯」辻本和仁 (大阪府) 自由  
「太郎男」上田 誠 (福岡県) 課題



応募作品

応募者表記内：自由＝自由部門  
課題＝課題部門

受付順

「増女」池谷幸喜 (山梨県) 課題  
「翁」眞井忠仁 (兵庫県) 自由  
「大僧見」西川重紀 (兵庫県) 自由  
「若女」塚本和男 (滋賀県) 自由  
「増女」白崎 温 (滋賀県) 自由  
「小面」栗田一男 (大阪府) 自由



「小牛劇」中園 豊 (佐賀県) 課題  
「老女小町」吉村悦子 (大阪府) 自由  
「翁」大橋庄一 (滋賀県) 自由  
「舞丸」志塚吉雄 (福岡県) 自由  
「大僧見」志塚吉雄 (福岡県) 自由  
「慈童」小林利夫 (滋賀県) 自由



「猿飛出」田中和彦 (埼玉県) 自由  
「太郎男」岩本忍志 (福岡県) 課題  
「中將」大友義夫 (栃木県) 自由  
「万歳」大友義夫 (栃木県) 自由  
「権姫」古濱伊津子 (奈良県) 自由  
「深井」古濱伊津子 (奈良県) 自由



「節木壇」貞光康子 (福岡県) 課題  
「太郎男」貞光康子 (福岡県) 課題  
「若女」貞光康子 (福岡県) 課題  
「小面」中川近雄 (滋賀県) 自由  
「俊寛」山縣 敬 (大阪府) 自由  
「わかい女」山縣 敬 (大阪府) 課題



「起眼」野村希正 (熊本県) 自由  
「若女」井上尊尋 (福岡県) 課題  
「宝壇」伊庭貞一 (滋賀県) 課題

